

治療した部位と治療方法

1 問診診察結果 (電動自動車トヨタプリウス)

- (1) 第一の原因として、ボディ(赤色)右後方が、右に傾け体重をかけた時タイヤに当たる。図-1
- (2) 電気系統等は異常なし。
- (3) 他の原因として、図-2の駆動輪取付部か車軸の穴の大きさ等が考えられるか。



図-1 タイヤに当たる部位(矢印)



図-2 駆動輪取り付け部

2 治療の方法

- (1) 第一の原因を解決する方法として、図-3の背もたれ右側取付部止めボルト(長さ2Cm弱)のナットとシャーシ(図-4の下グレー)との間に木製の支棒を黄色印のように入れ、ボルトを長さ5Cmの木ネジに替えてしっかり固定した。※木製の支棒は、外部からは見えない。



図-3 背もたれ と 止めボルト



図-4 支棒は黄色図のように入っている

- (2) この治療法により、赤のボディ部分を押し下げても、正常状態のシャーシの位置と少しも変わらずタイヤには当たらなくなった。
- (3) よく考えてみれば、1の(3)の図-2のことは関係ないのではないか。確かに右後方部を押し下げると、左前が上がる。いかにも右後方部が下がったような、タイヤに近づいた錯覚はおこるが、この場合もタイヤがシャーシの泥除けに接触しているわけでは無いのだから……..
ちなみに、左後方部を押し下げても、右前は上がらない。

3 ドクターからのアドバイス

この状態で様子を見て下さい。まだ不具合が残るようでしたら再度受診をお願いします。



お渡予定し日：平成28年9月3日
担当ドクター：室井・谷(兼レポート)